

10日間に10万人が読む雑誌

+plus

経済リポート

2026.1.20 1903号

2026(令和8)年 1月20日発行(毎月1日・10日・20日発行) 1973(昭和48)年 7月27日 第三種郵便物認可

URL / www.keizai.info
Mail / info@keizai.co.jp＼デザイン業務を外注するなら!／
デザインのコンビニ
ビジネスシーンでの販促効果・社内浸透効果を最大化!最短
即日納品 × 伝わるデザイン × 安心価格

e-仕事のサンテク

サンテク福山 | 0120-939-992
広島県福山市南蔵王町4丁目17-43詳細は
こちら坂本工務店
THE MEISTERSHOTEL
1-2-3
ホテルワン・ツー・スリーご自宅で眠っている貴金属をお売りください。キャンペーン
地域トップクラスの
地金買取り

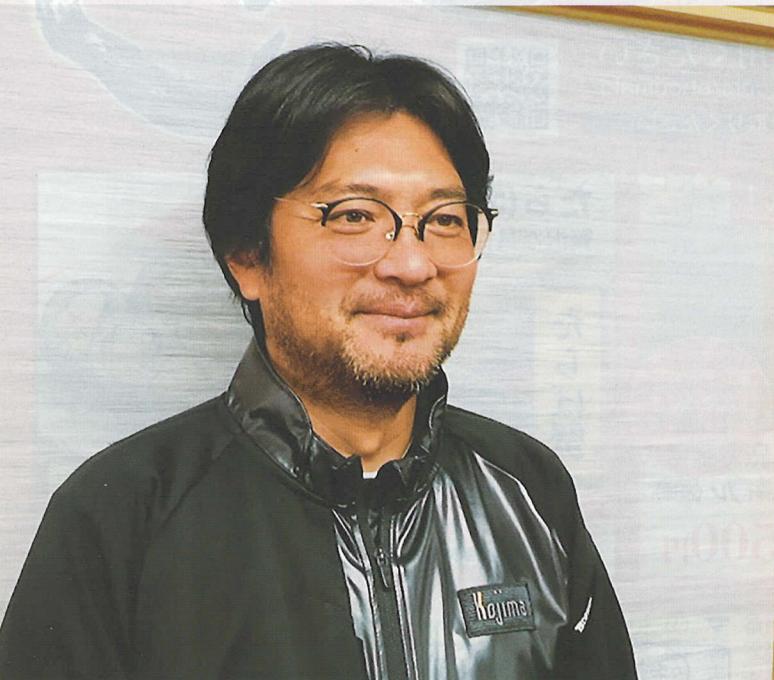
広島県公安委員会交付古物商許可証 第731210800054号

朝食無料
サービス
(7:00~9:00)1 - 2 - 3 料金システム
1人で泊まって
2人で泊まって
3人で泊まって【福山】TEL(084)932-3939
【倉敷】TEL(086)430-3939
【小倉】TEL(093)513-0018ミムラ
ジュエリー&ウォッチ
SINCE 1913
天満屋福山店
ゆめタウン福山店
フジグラン神辺
ミムラ本通店

ペーパレス化のお悩み、ご相談ください

設備点検システム
「S-Rinx(エスリンクス)」スマホを使った調査点検作業
でDXを推進! S-Rinx

他社商品も取り扱っています

株式会社エコー・システム
TEL 084-927-1600(株)児島工務店
社長 [岡山市] 児島真介 さん三原市芸術文化センター・ポボロ
館長 [三原市] 片山杜秀 さん

柿原鉛板
ANNIVERSAL
JOURNAL PLATE
ジャーナルプレート
本社/広島県福山市箕島町南丘399-11 TEL 084-953-8800
Email: Journalplate@kakiharameban.co.jp

読み捨てられない、ニュースがある。
読み捨てたくない、ニュースがある。

白内障手術・硝子体手術

中山眼科
nakayama EYE clinic
福山市川口町4丁目21番31号
TEL 084-954-9000

ハイエースを中心としたプロショップ

KONEIDER吉島
Toy-Factory BAR DEN
広島トヨペット 082-241-3345

この街が好きだから…



しまなみ信用金庫

か
お

檜皮・こけら葺き屋根工事が専門 300年前に創業し伝統を守る

(株)児島工務店
社長

こじましんすけ 児島真介さん (47)



児島工務店が檜皮葺き屋根を手掛けた国宝吉備津神社社殿

▷(株)児島工務店=岡山市北区平和町4-7、電086・232・2223。1720(享保5)年創業。従業員数22人。



▷児島真介=1978年2月11日生まれ。サッカー、ゴルフ、スキーバーディングを趣味とするスポーツマン。仕事の合間には全国各地の美術館、博物館、スーパー通りを楽しんでいる。

吉備津神社の屋根は瓦で葺かれておらず、茶色い木質のものでできている。檜皮葺（ひわだぶき）と呼ばれ、ヒノキの皮を屋根材として使用する日本独自の屋根なのだ。300年前に創業した(株)児島工務店は、通常の建築業者では手掛けることのできない伝統的な檜皮葺き、こけら葺きの屋根工事を専門的に行う企業だ。

吉備津神社の屋根はどのようにして作られているのでしょうか

「まずは屋根の材料として樹齢80年以上のヒノキの樹皮を剥いで幅15cm、長さ75cmほどに切り揃えたものを何十万枚も用意します。土台となる野地の上にこれを竹釘で打ち付けていくのですが、少しずつずらしながら何層も重ね合わせていくことができます。熟練した職人は口の中に数十本の竹釘を含み、1本ずつ取り出しながら目にも止まらぬ速さで檜皮を所定の位置に打ち留めていきます。軒の部分はとくに分厚く重ね合

わせ、断面をきれいに切り揃えて量感を出しています」

「飛鳥時代に仏教とともに瓦屋根の技術が伝えられ、寺院の多くは瓦屋根になっていますが、それ以前に創建された神社の社殿では今も檜皮葺きの屋根がよく見られます。ヒノキから採取した樹皮は10年ほどで再生し、また檜皮を取ることができます。檜皮葺きは日本独自のリサイクル素材による屋根作成技法で、環境保全にも貢献しています」

「屋根だけを手掛けているのですか

「そうです。社殿の本体は現代の建築会社さんが建てても、檜皮葺き、こけら葺き等の屋根は私ども専門業者が伝統的工法で葺き上げています。岡山後楽園の延養亭や島根の出雲大社を始め北海道の五稜郭にある函館奉行所から沖縄首里城まで、国宝、重要文化財の建物を含め全国の建物の屋根を手掛けています。個人の住宅や門に使われることもあり、よく注意して見ると私たちの周囲には檜皮葺、こけら

葺きの屋根が結構ありますよ」

「こけら板とはあまり聞かない言葉ですが、「こけら板」という木の板で屋根を葺く伝統工法で、岡山後楽園や金閣寺でも見ることができます。当社ではこけら板の作成段階から自社で行っています。サワラや杉などの太い丸太を輪切りにし、長さ30cmで幅15cm前後、厚さ3mmほどの長方形に整形します。こうしてできたこけら板を檜皮と同じように何千枚、何万枚も少しずつずらしながら重ね合わせて竹釘で留めることで曲線的な屋根を作ることができます」

「全国でお仕事なさつているのですね」

「檜皮葺の屋根は35~40年毎に葺き替える必要があるので再訪する建物も多々あります。一人前の職人になるには10年ほどもかかります

が、入社後に屋根技能師養成研修所に入所することもでき、費用は全額当社で負担します」